

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【公開番号】特開 2011-91816 (P2011-91816A)

【公開日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-018

【出願番号】特願 2010-249972 (P2010-249972)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/40 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 52/24 (2009.01)

H 0 4 W 52/16 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 4 4 8

H 0 4 Q 7/00 5 4 3

H 0 4 Q 7/00 4 4 0

H 0 4 Q 7/00 4 3 6

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 11 日 (2011.10.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 8 】

好適実施形態において、移動局は、アクティブセットの基地局がキャパシティリミット条件に無いことを条件として、潜在的逆方向リンク送信レートが成功する送信の公知の確率を持つアクティブセットの基地局のための送信レートプロファイルを知っている。好適実施形態において、遠隔局 1 2 2 は以下の式に従ってディレーティングメトリック (DM) とここで呼ぶメトリックを計算する。

【数 1】

$$DM = 1 - \left[1, \left(\sum_i SNR_i \cdot RLB_i \right) \left(\frac{1}{MaxSNR_i} \right) \right]$$

但し、 SNR_i は i 番目の基地局の推定された信号対雑音比であり、 $MaxSNR_i$ は遠隔局のアクティブセット内の基地局の最大信号対雑音比であり、 RLB_i は 0 または 1 の値を取るアクティブセット内の i 番目の基地局に関する逆方向リンクビジービットの値である。式 1 を用いて逆方向リンクキャパシティリミット条件を示す逆方向リンクビジービットを送信する基地局からの順方向リンク信号が強ければ強いほど、ディレーティングは大きくなる。このディレーティングメトリックは、成功する送信の与えられた確率のためにレートが減少するように送信レートプロファイルに倍率をかけるのに使用される 0 と 1 との間の値をとる。